

解答は解答用紙に記入してください。

11 月用

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を解答しなさい。

全 50 問/3 枚 制限時間 60 分

No.	問題文
1	インスリンは肝臓において糖の取り込みには直接関与せず、解糖(ブドウ糖分解)やグリコーゲン合成を介して間接的に糖の取り込み率増加、放出率低下の方向に働く。
2	インスリンによって活性化され、骨格筋および脂肪組織への糖の取り込みを担うのは、GLUT-4 (と分類/命名されたブドウ糖輸送担体)である。
3	蔗糖 (砂糖) は、炭素原子 6 つからなる単糖類である。
4	いわゆる「儉約遺伝子」は、西洋化したライフスタイルにおいて、進化上人間にとって有利である。
5	ステロイド糖尿病において、特にステロイド薬を朝服用するような例では、朝の空腹時血糖はかえって低めになり、夕食後に向かって血糖は上昇する。
6	インスリンが欠乏した状態では肥満傾向となる。
7	一般に、高血糖高浸透圧症候群(HSS)では、糖尿病性ケトアシドーシスよりも高血糖の程度は著しく高い。
8	多発する軟性白斑、細胞内細小血管異常、静脈異常、蛍光眼底検査で無冠流域を認めるものを、増殖前糖尿病網膜症 (重症非増殖網膜症)とする
9	急性膵炎に伴う高血糖は、たとえ原疾患が慢性化することなく改善しても、ほとんどの例で長期にわたって遷延し、インスリン療法を継続することが必要になる。
10	SU 薬によると考えられる低血糖の場合、ブドウ糖静注によく反応して意識が改善すれば、帰宅を許可する。
11	糖尿病腎症における透析導入基準は、腎機能、臨床症状、のほか患者個人個人の日常生活の障害度が加味されている
12	小児 1 型糖尿病重症例 (ケトアシドーシス) に対しては、インスリン開始より前に、水分欠乏量と維持量の合計を 48 時間以上かけて補うべく、0.45~0.9%の食塩水による補液を開始する。
13	母体に投与されたインスリン製剤は、ほとんど胎児に移行しない。
14	VEGF は血管増殖因子であり、VEGF 抗体薬は活動性の高い増殖網膜症・黄斑浮腫で点滴により全身投与される。
15	SGLT2 阻害薬の服用により、血糖コントロールが改善すると尿糖は陰性になる。
16	チアゾリジン誘導体 (ピオグリタゾン、商品名アクトス) は骨密度を増やして骨折リスクを低下させる。

解答は解答用紙に記入してください。

11 月用

No.	問題文
17	末梢血流障害が進行すると、足の皮膚は薄く光沢を呈しするようになり、脱毛が起こる。
18	糖尿病療養についての各種知識・情報は、すぐれたセルフケアの第一要件ではない。
19	小児・思春期といえども、管理不良で一定の年数を過ごせば慢性合併症は成人と同じように発症するから、その血糖コントロール目標で「適切」とされるのは HbA1c では 7.0%未満である。
20	糖尿病療養指導は、血糖値については HbA1c を改善することがその最終目標とはいえない。
21	フットケアにおける靴下選びにはいくつかの注意点があるが、色調としては白色のものを勧める。
22	インスリン使用中の糖尿病患者が発熱や下痢症状の激しい胃腸炎に罹患した場合、少量でも糖質を摂取してインスリンを減量してでも中止せず使用する。
23	使用済みのインスリン注射用針、針付きシリンジ、SMBG 穿刺用針、および使用済みインスリン注入器は、血液汚染物としてふたつきの専用容器に密封し、医療機関に持参してもらって破棄する。
24	フットケアにおいて、足皮膚が角質化している場合、保湿剤は趾間には塗布しないでおく
25	よし、セルフケアを自分から進んでやろう、という気持ちに変わったが、まだ行動変容が十分でない患者に、まずは主食の量を軽量するようアドバイスした。
26	皮下注での超速効型・速攻型インスリン吸収速度は、肩や上腕、臀部、大腿などの部位に比べ、腹壁が最も遅い。
27	大規模臨床試験のうち、DCCT は 1 型糖尿病を、UKPDS は 2 型糖尿病患者を、それぞれ対象としている。
28	糖尿病における歯周病発症増加の機序としては、唾液中ブドウ糖量の増加、唾液分泌量減少が挙げられる。
29	低血糖初期的な警告症状を自覚する方法で、単純作業にたいし余分な努力を必要としていないか、などを自分で確かめるのは、自律神経症状の有無の確認である。
30	歯に良い食事・食べ物とは、歯牙に負担をかけないような、柔らかくて噛み砕きやすいものである。
31	ACCORD 試験など、心血管疾患の既往や高リスクを有する患者において、従来療法群に比べて強化療法群（対象の標準療法群よりもより低い HbA1c を目指した）のほうが、総死亡・心血管発症は明らかに減少した。
32	糖尿病患児で急に泣き叫んだり、不機嫌になったり、急に静かになったりした場合には血糖を測定する。
33	患者さんが感情的になると、セッションが上手く進まないので、「そんなに怒ったりしないで、冷静にお話しましょう。」と諫めた。

解答は解答用紙に記入してください。

11 月用

No.	問題文
34	QOL は患者さん本人の主観的問題なので、医療側が客観的に測定することは困難である。
35	外科手術術前の血糖管理目標は、空腹時血糖 100～140m g /dl もしくは食後血糖 160～200mg/dl 未満、HbA1c は 7.0%以下で、尿ケトン陰性とされる。
36	70 歳、認知症はなくかつ ADL は自立している高齢者で SU 薬を使用している場合のコントロール目標は HbA1c で下限 7.0%で 8.0%未満と考えられる。
37	インスリンの作用発現時間は、速効型のレギュラーインスリン(合成ヒトインスリン)が最も速い。
38	セルフケアについての治療プランの決定には、医療者側の予測や推奨よりも、患者自身の意見が重視されるべきである。
39	自分に適しているとされる食事療法の必要性は感じているがするかどうか迷っている。この時期に重要なことは、行動変容の利益と不利益のバランスを可視化することである。
40	下肢末梢動脈疾患(PAD)のある患者へのケアで、下肢のマッサージを指導する場合、ふくらはぎは中枢側から末梢側に、下に向かってさすり、引き続いて足底のマッサージを行うよう指導する。
41	療養指導の「目標」として上げるとして、「食事療法の重要性を身につける」という項目はあまり望ましくない。
42	有酸素運動は、軽い運動を短時間からはじめ、まず同じ時間内での強度を徐々に強め、その次に運動の持続時間を徐々にふやす。
43	個々の患者の学習の準備状態や許容度は、いつも同じとは限らないので、一律の内容計画を押し進めると、内容不足になることが第一の問題である。
44	運動処方に基づいて指示されたトレーニングを同じ方法で継続していくと、その効果は減弱してくる。
45	75 歳男性・身長 160cm、体重 56kg、仕事引退して庭いじり程度であとは屋内で読書やテレビをみる、という方で、適正一日総カロリーは約 1600kcal と指示される。
46	DPP4 阻害薬は、インクレチン (GLP-1 と GIP) の分解を阻害し、血糖値の改善を来すので低血糖が起きやすい。
47	食品交換表において、表 1 は主に炭水化物の、表 2 はたんぱく質の、表 4 は脂質の供給源となっており、表 6 は野菜、きのこ、こんにゃくなどが含まれる。
48	PWV(脈波伝播速度)検査では、値が低いほど動脈硬化は進行している。
49	水に溶けない食物繊維のおもな作用は水分吸着による腸内内容の膨潤化、すなわち便の量の増加と適度な硬さの維持である。
50	ビッグアナイド薬 (メトホルミン) は肝臓における糖新生を抑制する。

\*\*\*\*\*以上\*\*\*\*\*